

調査研究資料 No.130-2
2012



平成23年度
生産用機械器具製造業（金属プレス用金型製造業）
に係る総合的かつ体系的な職務分析の
推進に関する調査研究

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

ISSN 1340-2404

調査研究資料 No.130-2
2012

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY

平成23年度
生産用機械器具製造業（金属プレス用金型製造業）
に係る総合的かつ体系的な職務分析の
推進に関する調査研究

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

はじめに

世界規模で経済が低迷する中、わが国においては少子・高齢化が進行し、就業構造や労働市場の形態も大きく変わってきています。さらに、社会・経済情勢や産業構造の変化などを背景として、産業界、事業主団体、企業等は今まで以上に競争力を付けることが要求され、そのため、様々な変化に対応できる人づくりの強化を図るため、多種多様な職業訓練や教育訓練の機会を確保する必要があります。

しかしながら、教育訓練の実態は個々の企業により異なっています。能力開発に積極的な大企業においては、海外進出等のグローバル化や IT 化等の技術革新に対応するため、集合研修などの OFF-JT のほか、労働者自らが能力を向上するための支援も試みられています。一方、中小企業では、人材育成の必要性を認識しながらも、日々の業務が優先され、取り組みが遅れている状況にあります。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下、「雇用支援機構」という）では、このような中小企業の人材育成の取り組みを支援するため、職業能力開発関係機関や中小企業等産業団体と連携を図り、毎年度産業分野や業種を新たに選定し、具体的かつ体系的に職務内容を分析し、仕事の体系（以下、「職業能力体系」という。）のモデルデータ化を進めています。

本資料は、社団法人日本金型工業会の協力を得て、生産用機械器具製造業（金属プレス用金型製造業）における職業能力体系をモデル化したものです。金属プレス用金型製造業に携わる業界団体や個別企業においては、この体系を基に独自の職業能力体系を作成するとともに研修の体系を整備し、人材育成環境を整備されることを期待します。

また、開発された職業能力体系は、雇用支援機構の実施する各職業訓練コースの設定・評価・見直しという一連の PDCA サイクルを軸とした職業訓練の質の保証や、職業訓練全体の水準の維持・向上のための標準データとし不可欠であり、国の教育訓練プログラム等の均質化、維持・向上を図るための基本データにもなりますので、各職業能力開発施設等関係機関においても、本資料を活用し、金属プレス用金型製造業における人材育成の基盤構築に係る取り組みへの支援等にも活用していただきますようお願いいたします。

最後に、本調査研究を進めるにあたりご協力いただいた社団法人日本金型工業会をはじめとする作業部会委員等に心より感謝を申し上げます。

2012 年 3 月

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター
所長 猪狩 安充

平成 23 年度

生産用機械器具製造業（金属プレス用金型製造業）に係る総合的かつ体系的な
職務分析の推進に関する調査研究 作業部会

（敬称略、順不同）

作業部会委員（外部）

坂西 伸一	黒田精工株式会社 常務取締役
牧野 俊清	株式会社長津製作所 代表取締役
桎山 剛士	桎山金型工業株式会社 代表取締役
加藤 忠郎	日進精機株式会社 取締役相談役
中里 栄	社団法人日本金型工業会 常務理事
萬 克己	社団法人日本金型工業会 事務局長
前田 晃穂	職業能力開発総合大学校 東京校 機械系 教授

作業部会委員（部内）

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構

岡田 政文	大阪職業訓練支援センター 事業課長
星野 実	職業能力開発総合大学校東京校 機械系講師
村上 智広	職業能力開発総合大学校 能力開発専門学科 准教授
榊原 充	高度職業能力開発促進センター 素材・生産システム系 講師

オブザーバー

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構

田熊公二郎	本部 求職者支援訓練部能力評価課 専門役
-------	----------------------

事務局

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 開発研究部		
田野倉 悟	開発研究部	部長
鐵本 運一	調査研究室	室長
横山 知子	調査研究室	研究員
工藤 晋司	調査研究室	研究員

研究担当室

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校	能力開発研究センター	開発研究部	調査研究室
-------------	------------	-------	-------

目 次

はじめに

第 1 章 調査研究概要

- 1－1 調査研究概要 3
 - (1) 生涯職業能力開発体系整備の背景
 - (2) 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)
選定の経過
- 1－2 金型製造業の分類 4
- 1－3 金属プレス用金型とは 4
 - (1) 金型とは何か
 - (2) 金型の分類
 - (3) プラスチック射出成型用金型

第 2 章 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業) の現状と課題

- 2－1 産業・業種の特徴 11
 - (1) 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)の
社会的意義と役割
 - (2) 金型生産高の推移
 - (3) 企業規模と従業員の構成
 - (4) 関連資格・技術等
- 2－2 業界をとりまく環境の変化 16
 - (1) 業界を取り巻く状況
 - (2) 人材育成の課題
 - (3) 今後の動向
 - (4) 業種関連法規等
- 2－3 職業生涯モデル 19
 - (1) 生涯キャリアイメージ
 - (2) 賃金イメージ

第 3 章 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)の職務分析の流れ

- 3－1 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)の
職務分析に係る調査研究の流れ 25

3-2 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)の 業務の流れ・製造工程	 26
3-3 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)職務分析 データ構築に係る部門・職務等の概要と整理 のポイント	 27
(1) 施工部門の主な整理のポイント	
(2) 管理事務部門の主な整理のポイント	
3-4 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)の作業と OJT/OFF-JTの関係	 28

第4章 生涯職業能力開発体系について

4-1 生涯職業能力開発体系とは	 77
4-2 人材をめぐる環境変化と求められているもの	 78
4-3 生涯職業能力開発体系の構成	 79
(1) 様式1 (生涯職業能力開発体系)	
(2) 様式2 (職務別職業能力体系)	
(3) 様式3 (職務別能力要素の細目)	
(4) 様式4 (職務別能力要素の細目の内容)	
(5) 様式5 (職業能力開発体系)	
(6) 様式6 (目標別職業能力開発体系)	
(7) 様式7 (カリキュラム)	
4-4 生涯職業能力開発体系を活用した人材育成の流れ	 86
4-5 生涯職業能力開発体系のデータ構造	 87

第5章 職業能力体系(モデルデータ)について

5-1 生涯職業能力開発体系における用語の定義	 91
(1) 職務分析とは	
(2) 職業能力体系(モデルデータ)とは	
5-2 職務分析にあたっての区分方法	 91
(1) 部門	
(2) 職務	
(3) 仕事	
(4) 作業	
(5) 作業に必要な知識及び技能・技術	
5-3 職務分析にあたってのレベル区分と「仕事」の概念	 93
5-4 職務分析結果の表記方法等	 95

- (1) 「仕事」、「作業」の表記方法
- (2) 「知識」及び「技能・技術」の表記方法

第6章 まとめ

6-1 生産用機械器具製造業(金属プレス用金型製造業)	
における職業能力体系(モデルデータ)の活用	 99
6-2 職業能力体系(モデルデータ)の評価・検証の必要性	 99
6-3 職業能力体系(モデルデータ)の普及のあり方	100

資料

- 資料1 職務構成表
- 資料2 様式1(生涯職業能力開発体系)
- 資料3 様式2(職務別職業能力体系)
- 資料4 様式3(職務別能力要素の細目)
- 資料5 様式4(職務別能力要素の細目の内容)

